

## チャペルの窓

### 台風接近

黒田 朔



台風10号のニュースを聞き始めたのは日曜日、既に1週間。金曜日のぶどう狩りを火曜日に繰り上げ、妻に急かされて水曜日には植木鉢類一式を礼拝堂に入れた。昨日、一昨日には九州や東海、関東から被害ニュースが届く。台風は今、徳島を抜けて潮岬に接近中。台風情報データマップによると私たちの住む阪南市は強風

域の真ただ中。しかし、窓の外は静かで、雨もまばら。何事でも「当たり」を喜ぶものではあるが、こればかりは「はずれ」を喜び、感謝し、小学生時代の台風体験を思い出した。あの日、ラジオの台風予報を聞いた時には強風が吹き荒れ、畳を上げて窓に当て家族中で台風と戦った。気が付いた時には窓が破れ、次の瞬間屋根が飛び、どのように逃げたのかは思い出せないが、台風が過ぎて戻ったときに、割れた窓ガラスが柱に刺さっていた。シェーン台風だった。グーグルで見ると1950年8月30日、74年前の今日、わたしが10才、小学3年生の時のこと。静かな窓の外を感じながら時の流れを噛みしめ、感謝する。